

倉敷市阿知3丁目東地区第一種市街地再開発事業

「あちてらす倉敷」

2021年10月10日(日)OPEN



株式会社 藤木工務店
代表取締役社長

藤木 玄三

倉敷駅前の再開発事業がつつがなく完成し、「あちてらす倉敷」としてグランドオープンの運びとなりましたこと、謹んでお慶び申し上げます。

特定業務代行者として事業に参画させていただきましたこと、また去る令和1年6月の解体工事着手から約2年4か月の工事期間を経て無事この日を迎えましたことは、ひとえに近隣の皆様方、関係者の皆様方、倉敷市をはじめとする諸官庁の皆様方のご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

皆様方の思いが詰まった「あちてらす倉敷」が、世界に誇る伝統文化の街並みに溶け込み、「居心地のよいまちらしき」の実現に寄与することを心より祈念申し上げます。

美観地区周辺にふさわしい新たなランドマークの創出



倉敷の景観要素を取り入れた外観計画



庇等のデザインコードを設け、街区間の景観を統一



区全体の回遊性を生み出す中央の公共空地と旧一番街通り



様々なイベントが可能な屋外芝生広場

和と洋が織りなす「倉敷」の建築表現を取り入れる
白壁や木格子などの「倉敷らしさ」を感じられる色彩や素材を取り込み、現代版に昇華させた外観計画としました。華美な装飾でなく、落ち着いた雰囲気と上品で洗練されたデザインとしています。

北街区と南街区を一体的な景観としてとらえる
本計画は様々な用途が複合する施設であり、階高や構造形式など様々な要素が異なる為、バラバラで統一感の無いまちなみとならないよう、庇や格子等のデザインコードを設け、北街区と南街区を一体的な景観となるよう計画しています。

官民連携によるウォークアブルな屋外空間をつくる
地区全体の回遊性を高め、まち全体の賑わいを生み出す為、敷地東側と中央に公共空地を計画しています。大きな芝生広場や植栽と一体となったベンチを設けており、官民一体で整備することで、オープンカフェやイベント等の柔軟な実施が可能となり、日常的に歩いたり、滞在することを楽しめるオープンスペースを創出しています。

施設建築物の概要

	1街区	2街区
建築敷地面積	3,511.49㎡	6,957.24㎡
延べ床面積 (容積対象面積)	10,837.46㎡ (10,557.70㎡)	29,223.70㎡ (22,803.51㎡)
建築面積	2,880.49㎡	5,422.11㎡
建築率	82.04%	77.94%
建築面積	300.67%	327.77%
用途	住宅、商業施設、 宿泊施設	住宅、商業施設、 駐車場
構造・規模	鉄骨造、鉄筋コンクリート造・ 地上7階建	鉄筋コンクリート造、 鉄骨造・地上10階建
備考	住宅戸数6戸、 宿泊施設客室数152室	住宅戸数171戸、 駐車台数370台 (住宅用177台、市営193台) 駐輪台数463台 (住宅用278台、市営185台)
施設用駐輪台数171台		

あすグランドオーブン

まちをつむぐ



倉敷市の新しい顔「あちてらす倉敷」。黒白の色調、ひさしや縦格子のデザインに白壁のまちなしさが漂う

倉敷市の玄関、JR倉敷駅南に新しいランドマーク「あちてらす倉敷(倉敷市阿知)が10日、グランドオープンします。2棟の再開発ビルで構成され、商業施設やホテル、マンション、公共施設、市営駐車場などさまざまな都市機能を備えています。中心市街地活性化の起爆剤としてにぎわいを創出し、同駅から全国有数の観光スポット・倉敷美観地区へ回遊する人の流れを生み出すことが期待されています。

回遊性高める新たな拠点



倉敷市長
伊東香織氏

倉敷市阿知3丁目東地区第一種市街地再開発事業の竣工にあたり、心からお喜び申し上げます。また、本事業にご理解とご協力をいただきました全ての皆さまに心から感謝申し上げます。

本事業は、住宅部分を含んだ市街地再開発事業としては、倉敷市最大の事業であり、まちなか居住の促進やにぎわいの創出に大きく貢献するものです。倉敷市では、本事業を倉敷駅周辺整備の核となる事業として、関係者の皆さまとともに進めてまいりました。本事業の竣工により、倉敷美観地区と倉敷駅北側の倉敷みらい公園・大型商業施設との間に、利便性の高い都市機能や居住環境が整備された新たな拠点が生まれ、回遊が促進されることで、にぎわいが中心市街地全域へ波及するものと期待しています。

商業施設やホテル、公共施設、マンション——にぎわい創出する複合施設



ホテル グラン・ココエ倉敷

和の趣あふれる館内に152室の客室と最大200人収容の宴会場・会議室、日帰り入浴もできる半露天風呂などを備える。和食店「くらしき 白壁」では旬の海鮮料理を楽しめる。

倉敷駅から南へ約200m。倉敷中央通り沿いの再開発街区「あちてらす倉敷」(約1.7ha)は、黒と白のシックなビル2棟が存在感を放っています。北館(7階建て)にホテルと銀行、飲食店、美容室など、南館(10階建て)に飲食店と医療モール、マンション(177戸)などが入り、市営駐車場(193台)・駐輪場(185台)も整備されました。延べ床面積は約4万平方メートル。再開発は地権者等で行く倉敷市阿知3丁目東地区市街地再開発組合が国・市の補助を受け、19年9月に本体工事に着手し、今年6月に完成。一部店舗が先行営業しています。

◆個性派ぞろい

約30のテナントのうち、倉敷ステーションホテル(同市)がホテルと移転リニューアルした和食店(白壁)を運営。店舗は岡山初出店や新業態など魅力的なラインアップです。オール薬局(呉市)と

◆開かれた憩い空間

地域に開かれた公共施設があるのも特徴です。倉敷市は誰でも無料で利用できる市民交流スペースを開設。北館と南館の間には倉敷中央通りと旧倉敷一番街商店街をつなぐオープンスペースが設けられ、広いエリアのまち歩きが楽しめるようになりました。

▽問い合わせは倉敷市阿知3丁目東地区市街地再開発組合(086-424-0111)。

大きな夢が実現



倉敷市阿知3丁目東地区市街地再開発組合
理事長 内田耕太郎氏

かねてより建設中であった「あちてらす倉敷」が開業の運びとなりました。この日を迎えることができましたのも、倉敷市さまをはじめ多くの

皆さまのご支援とご協力があったのことに深く感謝申し上げます。この再開発地区は古い木造家屋が多くあり、道路も狭く消防車も入れない所でした。土地の利用度も低く、地域の方々何とか解決方法はないものかと考えたところから再開発事業は始まり、大きな夢を持ち続けたことでこの事業を完遂することができました。これからは、市民の皆さまにご愛顧をいただけるように、また周辺の商店街ににぎわいが伝わっていくような施設にしたいと思っております。「あちてらす倉敷」が皆さまに喜んでいただけることを願っております。

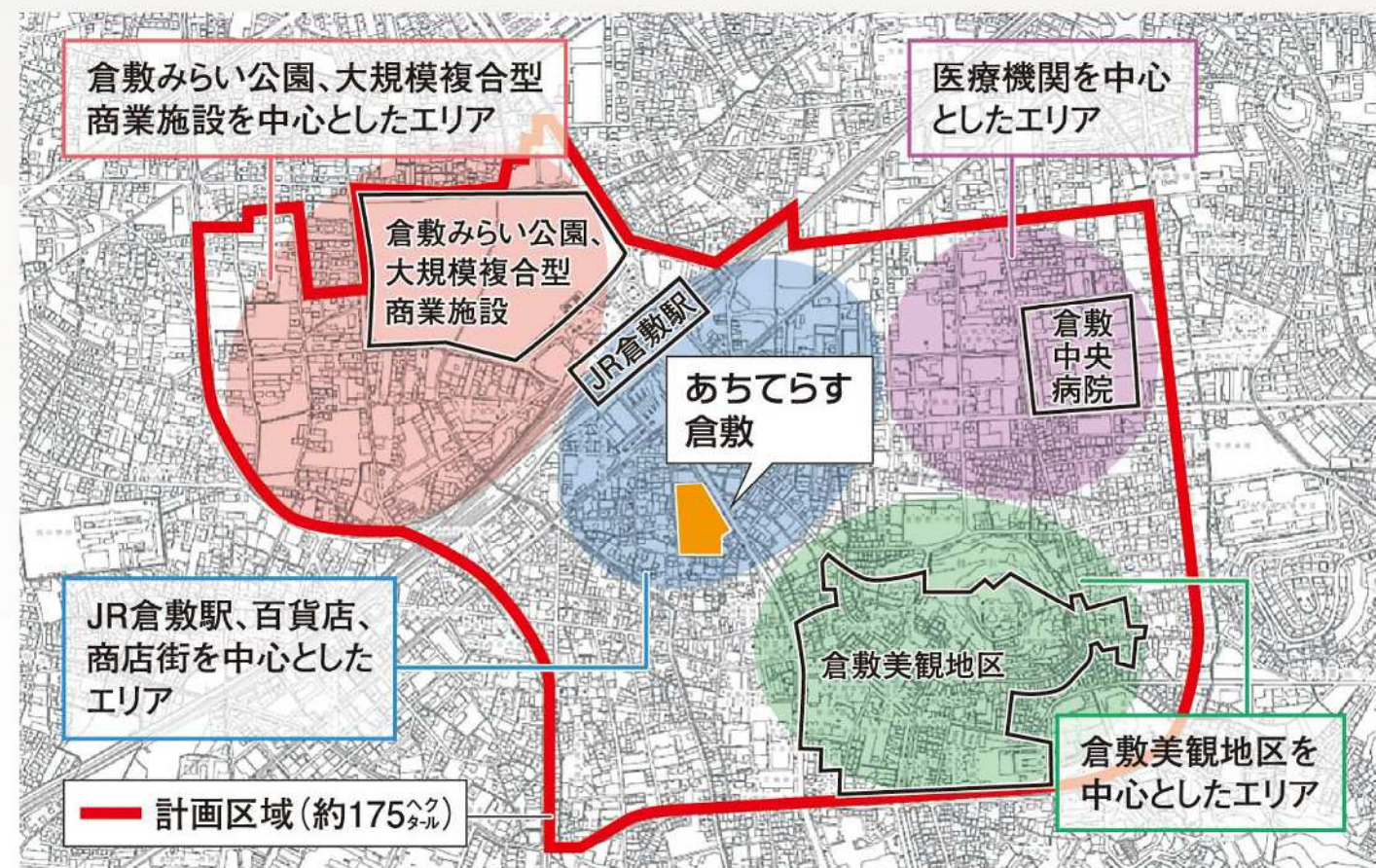
JR倉敷駅南 再開発街区

「あちてらす倉敷」

倉敷市の中心市街地活性化基本計画

基本テーマ「世界に誇る伝統文化 居心地のよいまち くらしき」

倉敷市は2010年度に中心市街地活性化基本計画を策定し、官民一体で中心市街地のさらなるにぎわいと活力の創出を目指しています。第3期計画(21~25年度:60事業)では四つの集客エリア(下図)それぞれの魅力向上と相乗効果を図り、歴史と芸術・文化の継承や区域内の回遊促進、居住人口の増加などを目指します。主な事業の一つが倉敷市阿知3丁目東地区第一種市街地再開発事業(あちてらす倉敷)です。



市民交流スペース「あちてらすぽっと」
誰でも気軽に休憩でき、学習やテレワーク、市民団体などの作品展示に利用できる。授乳室も備えている。



異空間レストラン

ドットコンビナート
「KOMBINAT」の店名通り、水島コンビナートの夜景と和を融合した斬新な空間。畳床でくつろぎながら高級食材を使ったパスタやスイーツを味わうのも一興。



achi terrace kurashiki
あちてらす倉敷

おいしい&ヘルシー

「オールカフェ×タニタカフェ」は野菜たっぷりのワンプレートなどを提供。飲食後は健康測定ができるオールラボで無料体験を。



オープンスペース

店舗オーナーらでつくる「まちづくり協議会」と倉敷市がまちづくりを担う法人として指定した「都市再生推進法人(倉敷まちづくり株式会社)」がイベントなどを企画する。



こだわりデニム

ビンテージ(年代物)を再現した日本製レプリカジーンズの先駆けとして知られるブランド「ステュディオ・ダ・ルチザン」の中四国初となる直営店。



出 会 い 、 発 見

活気を市全域へ広げたい

公益社団法人
倉敷観光コンベンションビューロー 会長 藤原 秀則 氏

「あちてらす倉敷」の開業によってJR倉敷駅から美観地区にかけての回遊性が高まります。駅周辺の宿泊施設も増え、大きな会合の倉敷への誘致がしやすくなりました。より多くの人に「芸術・文化のまち 倉敷」を訪れてもらう契機とし、にぎわいから生まれる活気を観光面でも倉敷市全域へ広げたいと思います。



商店街・商業施設の連携図る

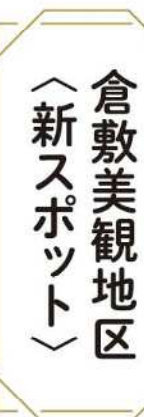
倉敷商店街振興連盟 会長 野嶋 雅弘 氏

倉敷に来られる方、住まわれる方が「あちてらす倉敷」開業の波及効果で増えることを期待しています。商店街としても個人商店ならではのサービスを新しいお客さまにアピールできます。将来的には市中心部の各商店街や既存の商業施設が一体で共同イベントなどを企画できるよう、連携を深めたいと考えています。



きび美ミュージアム

古代古備の土器や岡山県重要文化財の刀剣、書僧・良寛、寂庵の書、近現代絵画など郷土の歴史、文化の豊かさを伝える。



倉敷美観地区
〈新スポット〉

大原美術館

「新児島館」(仮称) 大正期の銀行建築を活用し、現代美術家ヤノベケンジ氏の動く大型作品「サン・シスター(リバース)」を展示。



期待の声

企画・制作／山陽新聞社広告本部